

ひかり、こだま号の自由席改札はやめるべきだ！

まもなくダイヤ改正から一ヶ月が経過する。ダイヤ改正の目玉は「車内改札の一部省略」と新幹線開業以来の劇的改善だった。当然、これまで車内改札に要していた時間は案内等の接客やセキュリティーチェックに注がれるはずだった・・・がそうではない。改札業務の見直しは業務量の増大と車内巡回すらもできないという予想を上回る**労働強化になっている**のが実態だ。車掌が感じていることをこの場を借りて声を大にして言う！！

ひかりやこだま号に乗務した場合、のぞみ号と違って自由席の改札に大幅な時間が費やされる。特にこだま号の場合、中乗り車掌は下りで1～7号車の改札を担当する。これまでは一回であったが、名古屋まで二回と倍の改札回数だ。つまり**14両改札せよ！**と言っているのと同じだ。作業指示をするお偉方は「**やれ**」の一言で済むが、乗務員にとってはたまったものじゃない。ほとんど車掌室を出たきり延々と改札のみをやっているのだ。しかもだ、こだまの特性上、ほとんどきっぷの利用制限がない。返席もない。資格確認までやったらいつ改札が終わるかわからない。俺なにやってんだ？状態。まあ車内の状況を知らない人が決めるんだからこうなるわな。他にも車掌長が端末で改札状況を調べていたら時間がかかり次駅の到着時刻が気になり発券ができないことがあるという。のぞみ号なら利用制限や早乗りがあるから百歩譲って自由席の改札ありを理解するが、ひかり、こだま号では全く必要ないだろう。

ひかり、こだまの自由席改札は直ちにやめるべきだ！！